

2012年10月30日

支援する会よりの演鑑連高橋氏への公開質問状

全国演劇鑑賞団体連絡会議

事務局長 高橋武比古 様

公開質問状

拝復

先般は、私どもの質問状に対してご回答を頂き有難うございました。篤く御礼申し上げます。

早速で恐縮ですが、全員で検討した結果、「質問に対する回答にはなっていない」という結論に達し、改めて質問する次第です。それは回答の文中にある「私どもはあらゆる差別に反対しているということを表明したい」という姿勢に期待するものであります。

本年7月22日、東京千駄ヶ谷の日本青年館で開催された全国演劇鑑賞団体連絡会議の席上で再度中西和久氏がこの「四つの女の話やろ」という差別発言について真摯なご討議をお願いしたいと要望された際、貴殿は「これは必ず、近畿ブロックでよく論議していただき今後の活動に生かしていただきたい」とまとめられたと伺っております。

そこで二点についてお尋ねいたします。

- 一 近畿ブロックでの議論はどうなっているのか。
- 二 その議論はどのように活動に生かされているのか。

これは貴殿がまとめられた内容の結果を検証するもので、責任は貴殿にあると考えます。ご報告をお願いする次第です。

平成12年に制定された法律でも、同和問題の解決は、国民一人一人の課題であり責務であると謳っております。ましてや「日本演劇の民主的発展」を標榜される貴団体が見て見ぬふりをされるとは思いたくありません。私ども市民劇場の会員も組織の一員であるからです。

今後は、ご指摘のように中西氏と有馬氏から直接事実を確認することも必要であるし、行政と相談することも必要になってくるのではないかと会員の中で検討しております。

以上二点について、下記代表者宛に11月15日までに文書でご回答を頂きたいと思えます。ご多忙の中、恐縮ですがよろしくお願い致します。

敬

具

2012年（平成24年）10月

30日

『しのだづま考』の上演を支援する会

代表 角 敏秀 〒822-0032

福岡県直方市下新入2458-5

支援者

加来	宣幸	小林	英一	西島	敏弘
樗木	武洋	児玉	律子	横山	賢一
蓑田	昌弘	村田	幸雄	外	